## CHAPTER 5

## 児童の実態から考える関連項目

	児童の実態(例)	関連する項目(例)
健康の保持	□朝に起きることが難しい。睡眠欠乏や過眠がある □食事をする際に、少食・過食・偏食がある □常に長袖を着ている。または常に半袖を着ている □清潔感の意識が難しい(髪、顔、歯、体、爪など)	生活のリズムや生活習慣の形成
	□ 自分が病気のときに把握や理解が難しい □ 自分のストレスの原因や理解が難しい □ 自分のストレスへの対応が難しい □ 服薬している薬の理解や管理が難しい	病気の状態の理解と生活管理
	□ 自分のケガの痛みの把握や理解が難しい □ 自分の身体に関心がない。興味がない	身体各部の状態の理解と養護
	□ 失敗をすると、自分を否定的にとらえてしまう □ 大きな音がすると不安定になる □ 視覚刺激が強いと不安定になる	障害の特性の理解と生活環境調整
	□ 体力がない □ すぐに疲れる □ 運動量が少ない □ 暴飲暴食、偏食、夜食、食生活に課題がある □ 睡眠時間が少ない。 昼夜逆転している	健康状態の維持・改善
心理的な安定	□ 常にイライラしている □ 落ちつきがない □ 予定の変更や状況が変化すると不安になる □ 集団行動が苦手、参加することが難しい	情緒の安定に関すること
	□ 場面や状況の理解が難しい □ 急な予定変更やルール変更の受け入れが難しい □ 順番や順位、勝敗、やり方でパニックになる	状況の理解と変化への対応に関する こと
	□ 興味・関心の偏り □「どうせ…」「無理…」をよく言う □ 夢中になることが少ない	改善・克服する意欲に関すること
人間関係の形成	□ 教師や友達に不信感がある言動が見られる □ 他者に関心がない。共同生活や活動が難しい □ 会話のキャッチボール、礼儀や TPO の理解が難しい	他者とのかかわりの基礎に関すること
	□ 教師や友達の言葉の意味や感情の理解が難しい □ 笑うタイミング、冗談やことわざの理解が難しい □ 表情や声の調子から相手の感情を理解するのが難しい	他者の意図や感情に関すること
	□ 何度も同じ注意や指導を受ける □ 衝動的な感情や行動が抑えることが難しい □ 気持ちがあわてる、焦ることで失敗することある	自己の理解と行動の調整に関すること
	□ 場面や状況に応じた言葉選びや行動が難しい □ ルールや決まりを守ることが難しい □ 集団活動や小集団活動に参加することが苦手	集団への参加の基礎に関すること

	児童の実態 (例)	関連する項目(例)
環境の把握	□ 物を見る時、顔全体や見る対象物を傾ける □ 聞くことが難しい □ 記憶することが難しい	保有する感覚の活用に関すること
	□ 視写、書字、音読、図形模写等が難しい □ 指示を聞いて、自分で考え、判断して行動することが 難しい □ 音や感触などの感覚過敏からパニックになる	感覚や認知の特性についての理解と 対応に関すること
	□ 視力が低いが眼鏡やコンタクトを使用したくない □ 支援機器 (補聴器等) の管理や操作が難しい □ タブレットやパソコン等の管理や操作が難しい	感覚の補助及び代行手段の活用に関 すること
	□ 複数のルールや複雑なルールがある活動が難しい □ 場面や状況から、するべきことを見出すことが難しい (整理整頓、掃除等) □ 複数の情報を整理して、判断することが難しい	感覚を総合的に活用した周囲の状況 の把握と状況に応じた行動に関する こと
	□ 抽象的概念の理解が難しい □ 口頭指示が通りにくく、具体物がないと理解が難しい □ 場面に合わない突拍子もない行動を取る	認知や行動の手がかりとなる概念の 形成に関すること
	□常に、体が動いている。椅子に座ることが難しい □起立や着座で姿勢維持が難しい □運動に苦手意識がある(歩く、走る、投げるなど) □身体に麻痺があり、円滑に動かすことが難しい	姿勢と運動・動作の基本的技能に関 すること
身	□ 必要な補助用具の理解が難しい □ 必要な補助用具の活用が難しい	姿勢保持と運動・動作の補助的手段 の活用
体 の 動 き	□ 靴ひも結びや洋服でボタンの着脱等が難しい □ はさみ、カッター、定規、分度器、消しゴムなどの扱い が難しい	日常生活に必要な基本動作に関すること
	□ 身体的機能上の課題により、1 人で移動することが難 しい	身体の移動能力に関すること
	□ 身体の動きにより作業活動に取り組むことが難しい (制作、調理等での手先を使った活動) □ できないとすぐに投げ出す。すぐに飽きる	作業に必要な動作と円滑な遂行に関 すること
	□ 人に伝えようとする意識が少ない □ 教師や友達、周りの人に関心がない □ 身振りや表情の意味の理解や活用が難しい	コミュニケーションの基礎的能力に 関すること
	□ 会話の中で使用される語彙が少ない □ 相手の話や気持ちを受け入れることが難しい □ 考えを整理し、順序立てて話すことが難しい	言語の受容と表出に関すること
ュニケーシ	□ 生活上使う言葉や語彙の理解が不足している(物の名前、形容表現、抽象表現) □ 文章の読解力が乏しい □ 助詞等の理解が難しい	言語の形成と活用に関すること
ョン	□ ICT、文字ボードなどを活用したコミュニケーション手 段の理解や活用が難しい	コミュニケーション手段の選択と活 用に関すること
	□ 人と人の話に割り込む、場違いな質問をする □ 文面から相手の意図を想像することが難しい □ 場面や状況にあった言動が難しい(話し方、メモを取る、うなずく)	状況に応じたコミュニケーションに 関すること

214 215